

## 第4節 地産地消プロジェクト

森林・農業地域と市街地のお互いの良さを活かした連携を図り、農林業の活性化・振興を図っています。また地産地消の仕組みをよみがえらせ、生産者と消費者の顔が見える関係を目指します。

### 【奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直しの関連指標】

指標				令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
市民ふれあい交流事業 (ミニ直売所)(箇所)				6	令和元年度で事業廃止	10	農政課	42
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント				
-	-	3	2	生産者と消費者のふれあい交流は地場産の新鮮で安心・安全な農作物の消費を促進し、地産地消の推進に寄与するとともに、温室効果ガスの削減にもつながる。出張販売の依頼と請負のマッチングに力を入れていただき、更なる発展を期待したい。				
総合評価		前年度からの進捗						
-		-						
指標				令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
農業地域と市街地との 交流参加者数(人)				79	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度の事業は中止	100	都祁行政 センター 地域振興課	41
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント				
-	-	3	3	市民の地産地消の意識向上のためにも交流会は重要である。新型コロナウイルスの出現により、都市部の若者の自然回帰と意識を変えたこともあり、就農にもつながる可能性がある。感染予防対策方法の確立、オンライン開催等の工夫を行い、農業地域と市街地の交流促進を図っていただきたい。				
総合評価		前年度からの進捗						
-		-						
指標				令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
奈良県産学校給食食材 地産地消率(%)				48.64	41.0	50	保健給食課	42
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント				
4	1	3	3	傾向としては奈良県産学校給食食材地産地消率が年々増加しており、高く評価できる。本事業は、地産地消、食の安全、食育、フードマイレージの観点から重要であり、さらには児童生徒が生産者や生産過程を理解することで食物を大切にし、食品ロスの削減にもつながる。引き続き「古都ならの日」の実施により食育の推進を図っていただきたい。				
総合評価		前年度からの進捗						
B								

### 【実施事業】

#### 1 月ヶ瀬、都祁地域と都市部との連携

月ヶ瀬、都祁地域と都市部とのふれあいの場として、月ヶ瀬では地域団体が茶摘み体験、こんにゃく作り体験、餅つき大会等を行っており、都祁では都祁まちづくり協議会が農業体験交流事業（茶摘み体験、ブルーベリー採り、秋の収穫体験）を行っています。

## 2 市民ふれあい交流事業

### 【ミニ直売所】

地場産の新鮮で安心・安全な農産物の消費を促進するとともに、生産者と消費者のふれあい交流を推進するため、市内各所でミニ直売所を実施しました。なお、令和2年度より本事業に係る補助金の交付は廃止となり、地元主体の事業として運営されています。



### 【ふれあい交流ファーム】

農村地域において農業従事者からの耕作指導を受けながら農作物を育てる実体験を通して市民間のふれあいを深める場を「ふれあい交流ファーム」として提供しています。



## 3 学校における地場産農産物の利用

食育の観点から、子どもたちに生産者に対する感謝と食の大切さを学んでもらうとともに、地場産農産物の地域での消費を促進するため、学校給食への奈良県産食材利用を推進しております。平成30年度（2018年度）より関係機関と定例会を実施し、今まで使用実績のなかった地元食材を給食に取り入れることができ、奈良県産学校給食食材地産地消率は、41.0%となりました。今後も食育の推進、地域活性の観点からも、地産地消の推進に取り組んでまいります。